

プロジェクト課題活動実績

課題名：集落営農法人連合体の機能強化

長門農林水産事務所農業部 担当者氏名：中野良正、遠藤祐子、岡田知子、松富和海、
中村明子、西村昂将、品川貢、向野美緒

<活動事例の要旨>

長門市では3つの集落営農法人連合体(以下、連合体)が設立されている。連合体はこれを構成する集落営農法人(以下、構成法人)の支援をこれまで行ってきた。

しかし、構成法人の経営環境が大きく変わりつつある中、連合体に求められる役割も同様に変わりつつある。そこで、構成法人が求めている労働力の確保のため、連合体としてのオペレーター確保に向けた取り組みの検討を行った。さらに、連合体及び構成法人が抱える課題の明確化を図るとともに、解決に向けた対策について考えるよう誘導を図り、令和10年度以降の連合体の目指すべき方向性を中期経営計画として策定することを提案した。

1 普及活動の課題・目標

(1) 課題

連合体の経営力を強化するため、既存事業の拡大と収益性向上に取り組むとともに、労力確保とあわせて新規事業の展開を検討・支援する。

さらに、連合体の機能を強化するため、構成法人と連合体の経営課題を改めて整理し、お互いの役割分担を明確にし、共通認識のもと今後の営農方針を示した中期経営計画を策定する。

(2) 目標 (目標年度：令和4年度)

連合体のオペレーター数：3人 ※航空防除を除く農作業オペレーター
中期経営計画の策定：3計画

2 普及活動の内容

(1) 連合体A

ア 連合体の体制整備によるオペレーターの確保・育成

- ・新たな受託作業及び作業料金の見直しの協議
- ・雇用費用のシミュレーションや構成法人と連携したオペレーター体制の提案、協議
- ・航空防除オペレーター(オペレーター候補者含む)の待遇改善の検討
- ・ドローン教習所の開校支援

イ 課題の明確化と中期経営計画の策定

- ・連合体の組織再編や新たな雇用の確保等の課題の共有
- ・新規事業等のアイデア整理と中期計画の方向性の協議
- ・中期計画の内容に関する専従者の意向の聞き取り
- ・定例会における中期計画案の提示、説明

(2) 連合体B

- ア 連合体の体制整備によるオペレーターの確保・育成
 - ・大豆コンバインの事業導入の支援と運営体制、運営方法の協議
 - ・大豆コンバインの作業料金の検討とオペレーターの確保
 - ・大豆コンバインのオペレーター研修の実施と運営方法の検討
 - ・大豆コンバインの清算説明会の開催、運営改善等の聞き取り
- イ 課題の明確化と中期経営計画の策定
 - ・連合体の課題整理と中期計画イメージの共有
 - ・定例会における中期計画案の提示、説明

(3) 連合体C

- ア 連合体の体制整備によるオペレーターの確保・育成
 - ・オペレーター候補者への各種研修（水稻基礎講座、けん引研修等）の参加誘導
 - ・水稻育苗作業の手順書の作成
- イ 課題の明確化と中期経営計画の策定
 - ・連合体の経営方針に対する構成法人の意向確認
 - ・そばのドローン播種の確認、収穫の作業委託の検討
 - ・構成法人の状況確認と労力確保等の意向確認
 - ・定例会における中期計画案の提示、説明

3 普及活動の成果

(1) 目標に対する実績 [実績／目標]

連合体のオペレーター数 [8人／3人]

中期経営計画の策定 [3計画／3計画]

(2) 連合体の体制整備によるオペレーターの確保・育成

- ・専従者1人と大豆コンバインオペレーター7人の農作業オペレーターの確保・育成ができた。航空防除オペレーター等から候補者の掘起こしもできた。
- ・各連合体で麦の乾燥調製の作業受託、大豆コンバインの運営事業、そばの地域内供給体制等の新規事業を導入し、体制整備が進んだ。

(3) 課題の明確化と中期経営計画の策定

- ・各連合体の構成法人や専従者の意向を確認しながら中期経営計画を策定できた。

【中期経営計画の主な取り組み内容】

連合体A：作業受託のメニュー増加、利用権設定によるWC S等の栽培、労働者派遣業許可取得

連合体B：航空防除・共同育苗事業の拡大、大豆収穫作業・畦畔除草等の作業受託の開拓、事務受託の開拓

連合体C：育苗事業・ドローン防除事業・野菜栽培事業の維持

4 今後の普及活動に向けて

構成法人の経営環境が変わりつつある中、地域農業の発展のために、いかにオペレーターを確保していくか、連合体にどのような業務が必要なのかを考え、中期経営計画として策定することを支援した。

引き続き、構成法人を含め雇用就業者の確保に向けた体制整備を進めるとともに、中期経営計画の達成に向けて、作業受託メニューの増加、既存事業の拡大、大豆コンバイン事業の安定運営等の支援を行う必要がある。